

第34号

令和6年2月15日発行

ないえ 議会だより

発行 北海道奈井江町議会 / 編集 広報常任委員会



東川町役場にて

主な記事

第4回定例会報告	P2
町政 ここを問う (一般質問)	P3~P7
議会懇談会・各種研修会報告	P8~P9
移住者インタビュー	P12



<https://www.town.naie.hokkaido.jp/gikai/> 奈井江町議会

検索



おもいやり明日へ
Kindness for Tomorrow

…………… 第4回定例会で審議された議案 ……………

小・中学校へのエアコン設置が決まる！

第4回定例会は12月8日から12月12日まで開催され、令和5年度補正予算、条例の一部改正、人事案等、提案されたすべての議案を可決しました。

その結果、令和5年度一般会計予算の歳入歳出総額は70億18,400千円となりました。

その他意見案1件、会議案1件を可決し閉会しました

傍聴者数22名

【議案審議結果】

補正予算	令和5年度奈井江町一般会計補正予算（第6号） 歳入歳出に、2億23,039千円を追加し、補正後の総額は70億18,400千円 歳入 国庫補助120,178千円・交付税29,204千円 町債73,700千円の増 歳出 小・中学校エアコン設置費1億4,004千円 物価高騰対策費94,877千円	全会一致
	令和5年度奈井江町国民健康保険事業会計補正予算（第2号） 歳入歳出に、12,470千円を追加し、補正後の総額は2億03,770千円	全会一致
	令和5年度奈井江町下水道事業会計補正予算（第2号） 石狩川流域下水道組合負担金3,207千円の減額に伴い繰入金を減額	全会一致
	令和5年度奈井江町国民健康保険病院事業会計補正予算（第1号） 収入 国・道補助金1,409千円の増 支出 給与費6,254千円の減 委託料3,766千円の増	全会一致
条例改正	奈井江町職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例 人事勧告による給料表や支給手当額の改定を行うため条例の一部を改正	全会一致
	奈井江町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例 特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業並びに特定子ども・子育て支援施設等の運営に関する基準の一部改正に伴い、本条例の一部を改正	全会一致
	町有財産の取得に係る議決事項の変更について 【奈井江町役場新庁舎什器・備品購入（その1）】備品の数量の見直し 変更前金額 49,500,000円 変更後金額 49,561,820円	全会一致
	町有財産の取得に係る議決事項の変更について 【奈井江町役場新庁舎什器・備品購入（その2）】ロッカーを造作家具で対応 変更前金額 33,000,000円 変更後金額 32,576,610円	全会一致
	公の施設に係る指定管理者の指定について（奈井江町地域交流センター） 特定非営利活動法人 日本一直線道まちづくり研究会(令和6年～令和10年度)	賛成多数可決
	空知中部広域連合規約の変更について 組織強化を図り安定的な業務運営を推進するため、事務管理者1名を置く	全会一致
人事	人権擁護委員の推薦について 令和6年3月31日で任期満了となる別部睦子氏の再任に同意	全会一致
	奈井江町選挙管理委員会委員及び同補充員の選挙について 任期満了に伴い選挙管理委員会委員として桃木良子氏、鈴木敏正氏、稲垣英毅氏、鈴木陽子氏 補充員として堀浩二氏、小島和博氏、馬場寿恵氏、仲丸澄枝氏を選出	全会一致
会議案	奈井江町議会の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例 奈井江町議会議員の期末手当の支給額引き上げを行うための一部改正	全会一致

【請願・意見書審議結果】

意見書件名	提案者
補聴器購入助成制度の創設を求める意見書	星 厚早議員

上記の意見書は全会一致で可決し、内閣総理大臣、厚生労働大臣、北海道知事に提出しました。

町政 ここを問う

12月定例会では4人の議員が**一般質問**を行いました。

QRコードを読みとることで一般質問の音声を聞くことができます。

奈井江町における 害獣対策について

音声はこちら



星 厚早

星

令和5年度における鳥獣被害の状況を伺います。

砂川・奈井江広域有害鳥獣対策連絡協議会による鳥獣被害防止計画は、令和4年度から6年までの計画が進行中です。

ここで害獣という範囲は広いので、的を絞ってエゾシカ、アライグマ、ヒグマによる最新の被害状況を伺う。

全国的にも熊による人的被害の報道も多く、奈井江町でも市街地にヒグマが出没し町民の不安も広がって

おり人的被害が心配です。奈井江町として鳥獣対策について伺います。

町長

近年、道内においては、生息数の多い鹿や増加傾向にあるアライグマなど野生鳥獣による農作物への被害に加えて、熊の市街地への出没や痛ましい人身事故が相次いで発生しており、人とのあつれきが深刻化している。

当町は、野生鳥獣の被害軽減に向けて昨年度は鹿を116頭、アライグマを50頭捕獲したほか、本年度については現在のところ、鹿を21頭、アライグマを77頭、熊を3頭捕獲した。

熊の出没情報については本年度は例年の倍以上とな

る20件の通報が寄せられ、10月には役場周辺での目撃情報があり、初めて町の中心部に熊が出没したことで、私たちの日常生活に大きな不安と影響を及ぼしています。

被害状況については、人身事故は発生してませんが、農業被害については令和3年度に調査した結果、被害額は約217万円であり、主には鹿による稲作被害となっております。

今後、石狩川沿いにおける個体数の概数を把握するためのライトセンサー調査を実施するとともに、野生鳥獣による被害について、農業者へのアンケート調査や情報提供に基づいて被害状況の把握に努めます。

町の対策としては、熊の出没情報については、警察を通じて目撃や痕跡の情報が寄せられる場合が多く、直ちに警察と職員によって現場確認と周辺のパトロールを行うとともに、町の公式LINEやホームページ

などを利用した注意喚起の情報発信と併せて、連合区長をはじめとする周辺住民や学校、企業などに周知を行っている。

また、出没地点の周辺に注意喚起の看板を設置することや、状況に応じて広報車で巡回するとともに、警察や教育委員会など関係機関と連携し、パトロールを実施するなど町民の安全確保に努めている。

来年度に向けて注意喚起や問題個体への対応強化などを検討してありますが、今後、出没等の情報については、町民への適切かつ迅速な情報収集と注意喚起を行うためにLINEや緊急情報配信サービスの利用登録を呼びかけるとともに、ごみなどの誘因物に対する適正管理の周知や道が策定しているヒグマ管理計画に基づく有害性の段階に応じた問題個体への対処など、被害発生への未然防止に向けて必要な対策を実施したい。

北電奈井江発電所の廃止に伴う町の経済対策等について

音声はこちら



篠田茂美

①北電と副町長・担当課長による意見交換を実施
7回(砂川市と共通議題)
・跡地利用：自然資源に着目したエネルギー関連事業を検討している。

篠田
①北電との意見交換はどのよう
に進んでいるのか

町の影響額

奈井江・砂川火発稼働時
69億8千万円

砂川火発(現在) 42億5千万円
従業員214名(内町内者42名)

(R4商工会調査結果)

町長

町長

②現時点では要望等を受けてなく、地域経済などの影響を見極めながら、対応を検討する。

篠田
②町の経済対策等について

篠田

③懇談会の開催は情報共有し、知恵を出し合う
・廃止後の解体や灰の処理等地元事業所の参加要請
・働く場が無くなれば、転出も懸念される

・北電だけでなく、国・道にも要請することが出てくるのでは

「生涯活躍のまち」

音声はこちら



篠田

令和4年度から5か年計画。総事業費約6億円(内町負担1億5千万円)
①しごとコンビニ
②コンデイションニング

町長

②本年度、トレーナーとして、地域おこし協力隊1名を採用
・幅広い年代の健康づくりと交流を推進
・呼びかける開催から、教室開催の依頼を受ける方向に変わりつつある。
・若い方や働き盛りの方の参加が少ない。

町長

③北電が地域の振興にどのようなスタンスで臨むか協議を進める。

篠田
③キャッチフレーズ「ずどーん」
これまでの事業費と効果は

町長

③町の皆さんのコミュニケーションツールとして、町民や事業所等に使用し

「ずどーん」関連支出額 (R5.11末)

R4年度	7,761千円
・会議開催経費	
・デザイン料	
・PR用ノベルティー経費等	
R5年度	1,820千円
・グッズ製作費等	

ていただくことがこの企画の本質。
いろんな形で活用され始め、コミュニケーションツールとして少しずつ発揮している。

篠田

④町民のニーズに合う事業の推進は理解できるが、6年目以降は交付金も無くなり、継続できるかということも課題。
皆さんの税金で事業展開することであり、どんな事業も毎年検証し、無駄な事業には使ってほしくない。

町長

④検証しながら見直し、しっかりと進める。

奈井江町におけるGXについて

音声はこちら



根岸一志

GX（グリーントランスフォーメーション）とは、化石エネルギーを中心とした現在の産業構造・社会構造を、クリーンエネルギー中心へ転換する取り組みのこと。

と実践が必要不可欠で、日常的に行える節電やごみの削減、省エネ自動車等の買換え、また、エネルギー効率の高い設備や機器の導入などに取り組んでいただく必要があるというふうに考えております。

そのため、町民や事業者の皆さんに対してより効果的な啓発を進めることで、ゼロカーボンに向けた意識向上を図るとともに、国や道の施策の活用も検討しながら、自治体ができ得る支援策を検討していきたい。

根岸

GXへの取り組み。

町長

中小企業や自治体においても、緒に就いたばかりであり、検討に必要な人材不足やその育成など整理しなければならぬ課題もあると認識をしています。

GXを進める上で、まずは、事業者の皆さんの理解

根岸

GX推進に関しての担当者や民間企業を交えた検討会の設立予定は。

町長

現時点では検討会等の設置は予定しておりませんが、当面はGXやカーボンニュートラルに係る啓発活

動に努めていくとともに、町職員に対しましても必要な知識を学ぶための研修会参加などに努めて参りたいと考えております。よろしくご理解を頂きたいと思ます。

海外情勢の影響による光熱費の高騰や、奈井江発電所の廃止もあり、環境に左右されない、エネルギーの在り方を考え、産業構造の変化や時代の流れに対応して行く必要があります。

町内におけるテニスコートの整備状況と今後の対応

根岸

2か所、5面分のテニスコート、町民からは整備してほしいとの声も。

教育長

昭和55年に設置をした本町公園のコートでは、5月から10月の火曜日から土曜日まで、奈井江中学校のソフトテニス部が部活動で利用をしております。

管理は、学校からの要望を受けて、傷んだ箇所の修繕や木の剪定などを行っておりますが、現状、本町公園のコートに関しては、ほ

ば中学校の専用コートとなっている現状から、コートライン引きなど、日常的な管理は、部員の皆さん自らの手で実施をしていただいているところであります。

一方、昭和60年に設置をした体育館前のコートにつきましては、指定管理者による管理運営を行っておりますが、令和4年度に体育館の大規模改造を実施した際に、普段、体育館の中で活動している児童生徒向けのソフトテニス教室の利用により延べ261人の利用がありました。その前年の令和3年度は延べ68人、5年度は現状19人で、あまり利用がない状況です。

ただし、利用がゼロではありませぬので、コートは管理について対応すべき点がありましたら、その都度、指定管理者とも打合せを行う対応しており、平成30年、令和元年度には、フェンスの支柱やワイヤーなどの修繕対応をしている状況です。

また、次年度に向けた予算協議の中でも、何か不都合が生じているというお話も、それぞれ2者からはありませんので、今後も今までの同様の施設維持を行ってまいりたいというのが、教育委員会としての基本的な考えであります。



健康寿命延伸のために

带状疱疹ワクチンの 公費助成について

音声はこちら



町長 今後带状疱疹発症率が増えることを想定し前向きに検討して参りたい



笹木利津子

笹木

① 带状疱疹は80歳までに3人に1人が発症するといわれており、年々増加しつつある状況である。発症率は50歳から上昇、60〜80歳代でピークを迎える。また皮膚症状だけでなく鈍痛を伴う疾患でもある。昨年11月時点で全国の公費導入状況は326自治体である。国の定期接種化にない中、他市町の導入に対し町長のお考えは。

② 最近になりテレビCMやワクチン接種の認識が町民に高まっている。保健センターや役場窓口などに問い合わせが有るのか。
③ 地元医師会や病院の先生から意見要望などが有るのか。
④ 国の動向を見て定期接種された場合助成を検討するという事であったが多くの自治体が公費助成に踏み切っている中、奈井江町での公費助成の導入について。

町長

① 带状疱疹ワクチンについて平成28年3月、予防に対する効果・効能が承認

され定期接種化の議論がされている。現在も、発症頻度、持続性、対象年齢や接種効果、安全性、費用対効果など評価のため知見を行っていくこととされている。

費用助成を開始している自治体では、自治体の

実態や政策の優先順位を検討する中で、費用助成に踏み込んだと推察する。

② 現在ワクチン接種の相談を受けることが年に数回ある。相談者に対して、年齢、疾病の有無など、

かかりつけ医と相談の上接種を判断するよう保健師が相談対応をしている。町内医療機関での接種は可能。生ワクチン、不活化ワクチン、対応の違いなど、医療機関と相談していただきたい。

③ 現在、公費助成に向けた明確な要望は受けていない。今後公費助成について検討する場合、医師会や医療機関の理解、協力が

不可欠なことから引き続き連携を取って参りたい。

④ 带状疱疹ワクチンの有効性や効果の持続期間、費用対効果に関する知見も新たに報告されており、定期接種化について議論

が続いている状況である。当町としては带状疱疹の

発症者の増加が予測されることから、一定の自己負担は伴うが、ワクチンの有効性の周知、さらに公費助成の導入についても前向きに検討して参りたい。

再・笹木

○ 奈井江町に関しての財政影響額

発症患者数は生涯推計に基づき、50歳以上で675人、65歳以上で310人と推計される。予算規模試算では前提として半額助成の場合、接種率3%として50歳以上で約一二万円、65歳以上で約七四万円となる。ワクチン未接種の年間医

療費50歳以上で二一三万円、65歳以上で一五八万円と推計される。希望する町民のため実施に向け検討願いたい。

再・町長

○ 来年度以降、国が指定するワクチン接種をどう推奨するのか。公費がどのような形で関わっていくのか。その時の財源がどうなのか。様々な対応をコミュニケーションし、前向きな検討をさせていただきたい。

带状疱疹とは

初期は皮膚の痛みやかゆみ、その後強い痛みと共に発疹や水ぶくれを伴い帯状に現れる。発疹が消えた後も痛みが残るケースが有る。



道の駅

色々な人材の考え方を共有し、具体案を示すべきでは

町長 様々な意見を聞き、活性化に取り組み。

音声はこちら



大関光敏

町長

平成5年に制度が創設されて以来、四半世紀が経過する中で、国は2020〜2025年を第3ステージとして位置づけ、道の駅を核とした地方創生及び道の駅の安定経営を目指し、観光機能や防災機能、コミュニケーション機能の効果を推進している。

生涯活躍のまち事業や地域おこし協力隊など、様々な人材がまちづくりに協力しているがその方々と共に道の駅の在り方について協議出来ないか？
又、第7期まちづくり計画の実施計画において道の駅の方向性を具体的に示すべきでは。

当町では平成17年より指定管理者制度を導入しているが、道の駅の在り方については、時代とともに変化し、求められるニーズに対して、町民をはじめ関係機関や団体による共通の理解と認識、そして協働の下で

の運営が必要と考える。生涯活躍のまちの取り組みの一つである町と都市部の民間企業人材との交流によって、関わった町内外の皆さんから道の駅の可能性について提案をいただいております。

ヒグマ対策!!

これまでと違う対策が必要では

音声はこちら



町長 検討を進める

大関

これまで有害鳥獣対策は講じてきたが、ヒグマについては町民が被害にあう可能性があり、違う対策が必要と考える。市街地での目撃情報は初めてなので、真剣に防災対策として検討すべきでは

町長

来年に向けて、町民への注意喚起や関係者団体への対応強化を検討している。引き続き関係団体との連携のもと、道が策定しているヒグマ管理計画に基づく対策を進めるとともに、様々な対策への検討や検証結果を踏まえ、中長期的な観点から、本町の実情に合った

対策を検討する。

又、環境省が指定管理獣に認定する働きもあるもので、道の対策も変わってくる。様々な情報を勉強しながら、広域的に取り組むという視点を踏まえて道や関係団体と協議を進める。



ひぐまとは

クマ科に属する哺乳類。
ホッキョクグマと並びクマ科では最大の体長を誇る。

また日本に生息する「陸棲哺乳類でも最大の種。

- 食性―雑食。
- 寿命―20〜30年
- 体長―1.4〜2.8m
- 体重―80〜600kg



令和5年10月17日 議会懇談会を開催しました

午前の部、午後の部合わせて27人の参加がありました。
多くの意見の中から主な内容を報告いたします。(内容抜粋)
皆様からの意見要望は町に報告しました。



議会懇談会について

- ・誰でも参加できる雰囲気づくりが必要
- ・昨年の資料があれば初めて来ても経緯がわかりやすい
- ・テーマやたたき台があるといい

イベントについて

- ・イベントの開催やお祭り等は、人が集まり活気が出る
- ・ゆめびりかフェス、ティラノサウルスレース等町を知ってもらうには良い
- ・さくら祭り、にわ山、森林浴等を生かした里山の利活用に力をいれては
- ・駅前広場、道の駅の利用等に使用料がかかるため条例の変更が必要では
- ・道の駅のPR不足、活用が出来ていない、集客に努力を



道の駅

移住・定住対策について

- ・公住に入居の際に手続きが一度で終わらない
- ・空き家の公営住宅の管理が悪い
- ・リフォーム助成の上限を上げてほしい
- ・農業人フェアが開催されているが当町は不参加であるがこういうイベントに参加すべき
- ・大手企業があるが当町に住んでいる人が少ない

学校教育について

- ・中学校の自転車置き場に屋根がほしい
- ・部活動の指導者がいない
- ・エアコンの設置
- ・小・中学校の女子トイレに生理用品の設置
- ・奈良江商業高校に半導体製造でエンジニアの養成を行う高校にしては

子育て支援について

- ・給食費の免除は早急にすべき
- ・全町の盆踊りがあれば良い
- ・18歳までの医療費無償だがインフルエンザワクチンも無償化に
- ・地方からも集客ができる遊ぶ場があると良い
- ・町独自の子ども手当があると良い
- ・しらかば公園は幼年向きで中高学年が遊べない



体育館の管理について

- ・テニスコートに白線がないため使用できない
- ・バトミントンの指導者が転居のため中止になっている
- ・子どものスポーツ活動は必要
- ・少人数でできるスポーツの発足が出来ないか

議員研修会報告



第19回中空知町議会 議員親睦交流会

日時 10月16日

場所 雨竜町役場大会議室において、中空知5町の議会議員・事務局と50名余りが出席し、雨竜駐在所長 大根尚之様による『被害者支援の大切さ』とある殺人事件を担当してと題し、これまでの貴重な経験談に、出席者は真剣に耳を傾けていました。



奈井江町・浦臼町議会 議員交流会

日時 11月16日
場所 浦臼町役場

空知総合振興局長の鈴木健一氏をお招きし「10年後の空知農業を考える」と題し講演会が開催されました。今後の方向性について環境に考慮した維持可能な農業への転換、多様な担い手と人材の育成・確保をどう考えるのか。また空知型輪作の推進が重要であること。10年後に向け需要に応じた生産と変化への対応がキーワードと話されています。



タブレットを活用した 議会運営について

日時 11月6日

沼田町議会より対応を頂きタブレット導入の経過、会議での使用例、タブレット導入によるメリット・デメリットについて等、多くの意見交換をすることが出来ました。

導入にかかる費用は決して安価なものではありませんが、今後の議会運営の効率化と、ペーパーレス化により環境に配慮した活動にもつながるものと実感しました。



移住・定住 対策について

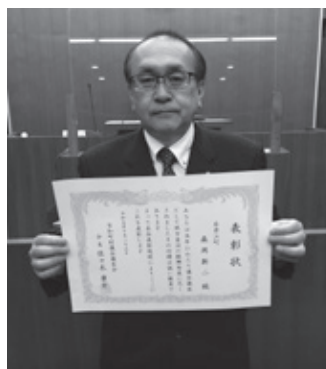
日時 11月7日

東川町の菊地伸町長をはじめ、町議会からも対応を頂き「写真の町」を軸にまちづくりが進められ、今日までの経過と、当町は水道がなく「天然水」を生活水として暮らしており、加工业者、飲食店でも水の恩恵を受け暮らしている。人口増となった要因は自然の環境に恵まれていること。観光が栄え定住者が増加。起業した方からのクチコミで人口が増加しているとのことでした。



空知町村議会 議長会表彰

森岡新二議長が、4年以上にわたり、議会議長として地方自治の振興発展に寄与貢献した功績があったとして、去る10月25日に表彰を受けました。



ご報告

このたびの「令和6年能登半島地震」の災害に対しまして、奈井江町議会議員会より義援金10万円を送金いたしました。

まちづくり 常任委員会 所管事務 調査報告

問 答

道路の維持管理について
(現地調査含む)

安全な交通機能を 維持するために 計画的な 維持管理と改修を

町道の改修に対する国の補助金や助成はあります。生活道路に対する国の補助金や交付金はありませ

【委員会からの意見・要望】
今後安全な交通機能の維持に努めると共に、次期まちづくり計画には、必要な財源と適切な事業を搭載し、道路の老朽化対策に取り組みたい。



問 今の改修対象路線は、ほとんどが生活路線なので国の補助を受ける事は厳しい。
答 使われていない電気融雪槽の数は把握していません。かまた今後、融雪槽を埋めて道路改修をする予定はありません。融雪槽は災害時の水利用も考えているので在置していません。
問 道路の維持管理費2,400万の使い道と報告は建設会館に委託して町道の調査や草刈、補修を行っています。業者からの日報をもとに検査し精算をしています。

道の駅の管理運営について
(現地調査含む)

賑わいのある 施設づくりのために 適切な管理運営を

問 指定管理者が委託している除排雪の現状を把握していますか
答 費用は把握しているが、稼働日数や回数は把握していません。
問 道の駅で雇用されている人数は
答 令和2年から4年は管理人員3名、障がい者雇用4名、事務員1名です。
問 道の駅を観光拠点として考えて行くべきでは
答 町として一定のコンセプトを持ちながら、将来的な方向性を検討するタイミング



問 が必要と感じています。
答 管理運営の収支状況の把握は
問 月間報告書と、年間報告書で把握しています。
【委員会からの意見・要望】
道の駅としての機能が發揮され、賑わいのある施設として適切な管理運営に努めていただきたい。
これまでの評価・検証を十分に分析し、施設の活性化に向けて指定管理の選定や施設運営がなされるよう要望する。

排水機場の管理状況について (現地調査含む)

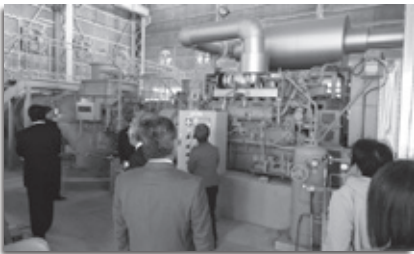
住民の安全・安心の暮らしや、 農地保全のために、適正な 点検・維持と、安全な運転を

問 高島排水機場敷地内の地盤沈下は整備されますか

答 砂利を埋め戻して改修をします。全面舗装にはならないが、現地を確認しながら道と協議をします。

問 排水機場と導水路は所管が違うが、どの様に管理していますか

答 情報を共有して非常時に対応できる



体制をとれるようにしています。

問 年間の運転状況は

答 四月中旬を目途に運転が出来る準備をしています。その後、六月から八月に試運転を3回、十一月に水おとし。合計5回分の費用を計上し、洪水時には、水位等の状況に応じて運転を行っています。

「委員会からの意見・要望」

災害対策に大変重要な役割を持つ排水機場の改修工事や、計画が報告された。
今後も適正な点検維持を行い、住民の安全・安心や農地の保全に努めていただきたい。

役場新庁舎について
(現地調査含む)

経済動向を 注視した費用の 整備と安全第一の 工事進行為

問 計画当初より建設費用が上がっているが、町の年間実負担額は

答 当初は年利率0.006%、5年据え置き、三〇年償還で年間4,500万円を見込んでいたが、現在は年利率0.08%で15%位の増額になり年間5,100万円になると見込んでいます。

問 外構工事を行う時の駐車場の確保は

答 南側を東西に分けて半分を仮設の駐車場にして半分ずつ工事を行います。
駐車台数は、東西それぞれ



ぞれ20台を確保する予定です。

問 工事代金は、いつ支払いますか

答 建築工事は今年の予定の4割を前払い、電気・機械工事の前払いはしていません。完成後に町の検査が終わり、請求書が届いて40日以内に支払います。

「委員会からの意見・要望」

経済動向を十分に注視しながら整備を進めていただきたい。
また、工事中の来庁者の駐車場の確保など、安全に来庁できるように配慮していただきたい。



櫻井さんファミリー



私達家族は2023年4月に奈井江町にご縁があり、長女が中学生に上がるタイミングで札幌から移住しました。

奈井江町を選んだ理由は、生まれも育ちも札幌であった私達なので自然溢れる場所で生活、子育てをしたかったことが一番の理由です。

この町に住み始めてもうすぐ1年となりますが、近所の方々は暖かく迎えてくださり、優しく接してくださいます。また散歩をしている

と町の方が挨拶や声掛け等をしてくださったりと札幌に住んでいる時にはないような暖かい気持ちを持ちを日々体感しております。

子どもたちも今では元気に学校に通い、友達もできて遊びに行ったりするようにもなりました。この町に来て本当に良かったと実感しております。

今後の展望は微力ながらこの町の活性化に力添えをしたく新規事業の計画や地域活動に参加し、町に根付いた活動を行っていきたいと考えております。まだまだ新参者で分からないことだらけではありますが、町でお願いした際には宜しく

委員会報告

議会運営委員会報告

12月4日 第4回定例会の議会運営について

12月12日 追加議案について

広報常任委員会報告

議会だより33号（11月15日発行）編集のため4回の委員会を開催

全員協議会報告

11月2日 第7回議会懇談会の検証について

12月1日 議会広報研修会について

12月8日 第4回定例会の議案説明について

12月12日 第4回定例会の議会運営について

12月12日 第4回定例会の議会運営について
 ・一部事務組合の議会報告について
 ・第7回議会懇談会の検証について

第1回定例会（予定）

■日程 3月5日（火）～3月19日（火）

■場所 役場3階議事堂

どなたでも傍聴できます。お気軽にお越しください。

お問い合わせは議会事務局まで

☎ 65-2166

✉ gikai@town.naie.lg.jp

編集後記

年明けから能登半島地震が発生し、お亡くなりになられた方々のご冥福をお祈りするとともに、被害に遭われた皆様にご心よりお見舞い申し上げます。はや2月中旬を迎え、本年は新庁舎の移転や、第7期まちづくり計画の策定の年でもあります。様々な観点から町民の皆さんに寄り添った議論をしていきます。

今後とも、議会だよりのご愛読をよろしくお願いたします。

（遠藤）



表紙の1枚

11月6日 奈井江町議会議員会道内視察研修（東川町にて）



発行 奈井江町議会
 編集 広報常任委員会

委員長 遠藤 共子
 副委員長 根岸 一志
 委員 笹木利津子
 星 厚早